

# キャンプ砂防2026 in 渡良瀬



国土交通省関東地方整備局  
渡良瀬川河川事務所

## 渡良瀬川とは

渡良瀬川は、日本一の大河「利根川」の最も大きな支流で、最上流部は日光市の足尾地区を流れ、栃木県・群馬県の山間部及び市街地を流下し、足尾銅山と関わりの深い渡良瀬遊水地を経て利根川に合流する一級河川です。

- ・源流：皇海山(すかいさん) 【標高2,144m】
- ・流路延長：111.7km
- ・流域面積：2,621km<sup>2</sup>
- ・流域内人口：約124万人

## 渡良瀬川の砂防事業

足尾銅山の煙害や山火事により荒廃が著しい日光市足尾町地区における砂防堰堤の建設や山腹工を実施し、土砂の流出など防ぐとともに、緑の復元を実施しています。

草木ダムの下流域については、赤城山東斜面や桐生市流域からの土砂災害対策を進めています。



草木ダム

## 実施内容 (案)

令和8年8月24日(月)～8月28日(金) 5日間

キャンプ砂防2026 in 渡良瀬では、「渡良瀬川の砂防～安全・安心な流域を目指して」をテーマとして、渡良瀬川の歴史と砂防事業の取り組みについての学習や、工事現場体験及び溪流調査、足尾地区の緑化対策体験など実施する予定です。



花輪床固群 (事業中)



山腹工から見た足尾砂防堰堤 (日本最大級)



# キャンプ砂防2026 in 渡良瀬



国土交通省関東地方整備局  
渡良瀬川河川事務所

## 1日目

- 開講式
- 座学(事業概要、BIM/CIM)
- 渡良瀬川の歴史



## 2日目

- 植樹体験
- 施工現場見学



## 3日目

- 施工現場見学 (AR)
- UAV測量体験 (点群処理)



## 4日目

- 草木ダム見学
- わたらせ渓谷鐵道見学
- TEC-FORCE体験談



## 5日目

- レポートとりまとめ
- レポート発表
- 閉講式



### 参加学生の声(レポートより抜粋)

- 今回学んだことを復習し、来年の夏も砂防関係のインターンシップに参加したいと思った。
- 実際に植樹や溪流調査に参加したことがなかったため、貴重な経験となった。知識はいくら持っていても、損はないうえ、今後自分が学んだことを活かす道を見つけて生かしていきたい。
- 多くの土木技術者の方々にお世話になり、将来、自分が就職した際の仕事のイメージをもつことができた。

写真はキャンプ砂防2022・2024in渡良瀬の実施状況です。  
今年の内容が同じとは限りません。